

全体	13
個別	03-01

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

No.	項目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 観光案内板・誘導板の設置により、観光情報機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。</p> <p>【指標】 ・観光案内板、誘導板を市内全域に14基設置（うち2基単独）予定</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>・観光案内板2基、誘導板を市内全域に28基設置しました。</p> <p>【観光案内板】 美津島1基、豊玉1基</p> <p>【誘導板】 厳原・美津島 14基、豊玉・峰5基、上県・上対馬9基</p>	
	3. 評価	○
	<p>観光案内板・誘導板設置数は目標指数を上回る結果となりました。 市内各所に点在する観光地へスムーズに誘導することで、観光客の満足度の向上につながると考えます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>個人旅行のニーズの高まり、また、レンタカー利用の外国人も増加しています。 今後は、必要に応じて効率的に観光案内板、誘導板等の設置を行い観光客の満足度向上を図ります。</p>	

全体	14
個別	03-02

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

No.	項目	地場製品の更なる消費拡大に取り組みます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 物産展等の開催や出展、福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、対馬の認知度向上、特産品の販路拡大及び対馬産品取扱店舗拡大に取り組みます。 情報発信の拠点として「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催し、集客・誘客、対馬特産品販路拡大を図ります。 商品づくりの勉強会等を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路拡大を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業に取り組みます。</p> <p>【指標】 ・物産展売上額 10,000千円 ・レストラン等での対馬食材フェア開催 3会場</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>平成29年度の物産展は、主に福岡県内、大阪などで出展を行い、物産展の売上合計は10,116千円でした。 「よりあい処つしま」では対馬フェアを実施しました。フェアの内容は、まぐろ・あなご・ブリをメイン食材として行い、よりあい処つしまにお越しいただくお客様に対馬の特産品を食べて頂き認知度向上を図りました。 レストラン等での対馬フェアは、ホテル日航福岡、福岡サンパレス、西鉄シティホテルで実施し販路拡大を図りました。 海山交流イベントは、熊本県山江村と岐阜県中津川市と各1回交流事業を実施しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>指数については、目標を達成することができました。 物産展の開催・出展により、消費者の求める商品の把握ができ、商品の改良、パッケージの改良等、売れる商品づくりに繋がりました。 また、福岡市内のホテルやレストラン等で対馬食材のフェアを実施し、対馬の特産品の販路拡大及び認知度向上に繋がりました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>物産展等を開催(出展)することで対馬の特産品の認知度向上を図り、都市圏での認知度を上げるとともに、販路拡大を行います。</p>	

全体	15
個別	03-03

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

No.	項 目	新規参入事業者の誘致と既存事業者への支援による商工業の活性化
	1. 組織目標	
	【 内 容 】	<p>人口減や少子高齢化、担い手不足、後継者不足などにより市内の産業は低迷し続けていますが、伸び続ける外国人観光客数や大型ホテルの建設など、商工業においては決して悪い状況ではありません。</p> <p>店舗の顧客満足度の向上や事業継承の推進を図るためにも、市内の事業者への設備投資を促進し、商工業の振興を図ります。</p>
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市商工業活性化推進事業補助金 年20件 ・商工業活性化協議 年5件 ・雇用推進策（労働者待遇改善含む）の策定 ・融資制度の活用促進
	2. 実績（成果）	
		<p>以下のとおり目標に対しての成果がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市商工業活性化推進事業補助金 採択 21件 ・商工業活性化協議 10件 ・雇用推進策は1件策定 ・制度融資 年3件（全25件）の新規融資
	3. 評 価	○
		<p>対馬市商工業活性化推進事業については、採択件数は目標を上回りましたが、事業承継案件が1件のみに留まりました。</p> <p>対馬市商工会とは上記補助金制度の推進や対馬市の商工業全体のニーズの調査のため、不定期ではありますが協議を行いました。</p> <p>雇用推進策としては、現状では人手不足という環境化であるため雇用条件の改善を推進する施策を検討しましたが、現状は他の雇用推進策の推進により30年度の予算化は見送られました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>対馬市商工業活性化推進事業の継続により、商工業者の設備投資による対馬の商工業の発展を推進していきます。また商工会との協議についても必要に応じて頻度を増加させ、新たな商工振興策の実施について検討したいと考えています。</p> <p>また、対馬だけでなく日本全体の課題でもある事業承継や雇用条件の改善については、商工会や市内の銀行とも連携し推進します。</p>

全体	16
個別	03-04

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	文化交流・自然共生課
----	------------

No.	項目	国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>①対馬厳原港まつりにおける朝鮮通信使行列の再現、つしま海道音楽祭や対馬アートファンタジアの開催支援をし、交流人口の拡大を行います。</p> <p>②日本遺産PRのための看板等を設置し関連イベントを行います。</p> <p>③旅行社(者)へのマナー向上、ルール遵守の普及啓発を行い、市民の理解の促進を図ります。</p> <p>④朝鮮通信使の世界記憶遺産登録関連イベントの開催します。</p> <p>⑤朝鮮通信使を活用したまちづくり計画の策定します。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・つしま海道音楽祭への参加者数 450人 ・日本遺産PR用看板等設置3箇所、バスツアー2回 ・添乗員研修実施 ・世界記憶遺産登録関連イベントの開催 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・つしま海道音楽祭への参加者数 210人 ・日本遺産PR用看板等設置3箇所(繰越)、バスツアー2回実施 60人 ・添乗員研修実施 11人 ・朝鮮通信使の集いIN対馬の開催(2/24~25) ミュージカル670人、式典280人、通信使行列155人 ・朝鮮通信使によるまちづくり検討・実行委員会(4回)、部会(7回)の開催 	
	3. 評価	○
	<p>韓国人観光客は年々増加し、平成29年は過去最高の約36万人を記録した。今後も添乗員、ガイド研修等で韓国旅行客のマナー向上に向けた、啓発活動の充実を図っていきます。</p> <p>朝鮮通信使行列再現、アートファンタジア、海道音楽祭、朝鮮通信使関連イベントは一定の集客等もあり交流人口拡大に繋がりました。</p> <p>日本遺産の周知用案内板の設置が繰越となりました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>世界記憶遺産登録を活かしたまちづくり、「朝鮮通信使と言えば、対馬」のキャッチフレーズを基に朝鮮通信使によるまちづくり事業を推進いたします。</p> <p>つしま海道音楽祭については実行委委員会と協議を重ね、実施スキームを検討いたします。</p>	

全体	17
個別	03-05

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	文化交流・自然共生課 博物館建設推進室
----	------------------------

No.	項 目	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <p>1 対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。</p> <p>2 対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館の魅力を市内外へ発信します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>1 ① 実施設計の完成 ② 建築工事の着工及び施工管理の実施 ③ 管理運営基本計画に基づいた運営計画の具体化</p> <p>2 ① 九州国立博物館特別展示・対馬市里帰り展の開催 ② 文化財講座等による博物館の魅力発信 4回/年</p>
	2. 実績（成果）	<p>1 ① 実施設計完成 平成29年12月15日 ② 博物館棟ゾーンの工事着工 平成29年12月19日 工事契約 ③ 対馬博物館（仮称）基本・実施設計業務管理運営基本計画の策定</p> <p>2 ① 対馬の遺宝里帰り展 10/6～11/5 峰町歴史民俗資料館 観覧者数 2,228人（うち、市内観覧者1,845人） ② 博物館関連講座 3回実施</p>
	3. 評 価	○
		<p>○ 平成32年の完成を目指し、建設工事に着手することができました。</p> <p>○ 対馬の遺宝里帰り展は、当初目標を大きく上回り、多数の来館者がありました。これは文化財に対する市民の関心や郷土への愛着の高さによるものと思われます。</p>
	4. 今後の展開	<p>○ 博物館完成に向け、建設工事を着実に進めていきます。</p> <p>○ 博物館開館を見据え、展示計画や活動内容を具体的に決定していきます。</p> <p>○ 博物館周知のため、さらに広報活動に努めます。</p>